

整理番号	2018P-	193	補助事業者名	(福)博愛
------	--------	-----	--------	-------

別紙 JKA補助事業 平成30年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2018	年	12	月	10	日	作成者	奥森 仁
-----	------	---	----	---	----	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	移送車4[特別装備無し] ・メーカー名...トヨタ ・車名...ハイエースワゴン ・排気量...2,700cc ・用途...障がい者支援施設「仁万の里」利用者の送迎、施設外でのレクリエーションに使用する。 9月納車予定が10月になったが、通所者送迎で平日週5日、また祝日開所日における送迎に使用している。今後、施設外でのイベントや買い物等の送迎でも使用していく予定である。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
実施計画・体制	事業の完了時期は平成30年9月30日を予定していましたが、納車時期が遅れたことで平成30年10月25日となった。 補助対象経費は2,300,000円、補助金交付決定額は1,725,000円、自己負担金は575,000円。入札の結果、事業費総額は2,983,000円となった。 実施体制については変更なし。				3
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 平成30年10月25日	[達成状況] 90%	[具体的内容] 平成30年9月30日を予定していたが、納車時期が遅れ平成30年10月25日となった。 新車両の導入により、送迎表の作成などがスムーズになり、職員の負担軽減にもつながっている。	3
	事業の成果・波及	[達成値] 7名(往復14名)	[達成状況] 88%	[具体的内容] 施設通所者の内、7名の利用者が迎えと送りで延べ14名の送迎に導入車輛を活用した。 当初8名(往復16名)の利用を見込んでいたが、利用者の通院等で日によっては乗車する方が少ない日もあり、目標達成には至らなかった。	3
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1. 平成30年12月に受益者・関係者への通知(ポスター) 2. 平成30年12月にホームページに掲載。	[達成状況] 1. 80% 2. 80%	[具体的内容] 1. 平成30年12月3日に施設・グループホームにポスターを掲示。 2. 平成30年12月11日に社会福祉法人 博愛ホームページに「JKA競輪補助事業完了のお知らせ」を掲載する。	3
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1. 平成30年12月に受益者・関係者への通知(ポスター) 2. 平成30年12月にホームページに掲載。	[達成状況] 1. 80% 2. 80%	[具体的内容] 1~2 上記の情報発信時には、常に競輪補助事業による事業であることを明示した。	3
(5) 自己評価の体制	平成30年12月5日に総務課長、総務課事務職員、通所支援課長、通所支援員、送迎担当者により自己評価を行い、事前計画/自己評価書を社会福祉法人 博愛のホームページに掲載する。				3

(b) 総合評価

総合評価点	3
-------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	車輛10人乗りでの送迎の効率化により、送迎車両の不足緩和が出来た。新車両による乗り心地や乗り降りの負担軽減により、利用者からは「きれいで静か。広くて乗り心地が良い」と大変好評を頂けている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	当初事業費総額としては、3,685,755円を予定していたが、5社による入札を行った結果、総額を2,983,000円に抑えることが出来た。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってほしい点	離島という公共交通機関が少ない土地柄でも、利用者が安心して施設へ通える。また、入所利用者が年間を通して施設外への買い物やレクリエーションへ出かける機会が増え、活動の機会が増えた。様々なシーンで車両を走行させることで、競輪補助事業のPRに努めていきたい。

整理番号	2018P-	193	補助事業者名	(福)博愛
------	--------	-----	--------	-------

別紙 JKA補助事業 平成30年度 事前計画/自己評価書(5/5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻害」欄に「*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因	*		(1) 経費	(1)当初事業費総額としては、3,685,755円を予定していたが、5社による入札を行った結果、総額を2,983,000円に抑えることが出来た。(4)納車時期が遅れたため、事業完了が予定より1ヶ月遅れた。	(4)事業計画策定前に購入業者と詳細な納車時期を確認しておく必要があった。
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
		*	(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
			(15) その他		
		(16) 特になし			